

グリーンベルト

裸地や畑の周辺、斜面の下側などに、樹木や草本などの植物を帯状に植えることにより、水の流れを弱めたり、濁水中の土粒子を補足し、赤土等の流出を防ぐ対策方法です。

・グリーンベルトは、緑肥やマルチングなどとともに、一般的に行われている赤土流出防止対策で、農地などの赤土流出源では重要な防止対策となっています。

・グリーンベルトは、赤土の流出をおさえるとともに、畑の土が側溝に落ちるのも防ぎます。赤土流出量の50%程度を軽減する効果があるといわれています。

・沖縄では、ベチバー、ゲットウ、ヤブラン、リュウノヒゲなどがグリーンベルトとして用いられています。

※マルチング：マルチングは、農地における赤土流出を防止するための方法です。ススキなどの落ち葉で畑の表面を覆うことにより、土壌浸食を抑制します。

グリーンベルトに適した植物



ベチバー



ゲットウ



ヤブラン



リュウノヒゲ

グリーンベルトに用いる植物を選ぶときの注意点

・ **大きな植栽面積を必要としないもの**

邪魔にならず、小さい面積で赤土流出防止効果が期待できるもの

・ **背丈が高すぎないもの、枝葉が大きくなならないもの**

農作物に日が当たらなくなるのを防ぐ

・ **どんな環境でも生育するもの**

どこにでも植栽できる

・ **簡単に増え、管理がしやすいもの**

株分け等により増やすことができ、増えすぎたときには簡単に伐採できる

・ **一年中生えていて、葉がなくなったりしないもの**

赤土流出防止効果がなくなる

・ **有用性があるもの**

香料や薬用として利用したり、花が観賞用になるなど

植え付け方法

・ 植え方

ポット苗による植え付けが一般的です。

・ 注意点

植え付け時期の赤土流出を抑えるため、耕す量を少なくします（ポット苗の箇所のみ耕します）。

植え付け時期

緑肥（畑の表面植生）は、作物の収穫後に畑が裸地になったときに播種され、赤土の流出を防ぎます。そして、次の作物を植える前に耕し込まれます。

